

2018 - 19年度 RI テーマ



インスピレーションになるう

Rotary International  
国際ロータリー会長  
バリー・ラシン



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

新しく生まれ変わろう  
ークラブネッサンス

第2660地区  
八尾東ロータリークラブ  
YAO EAST ROTARY CLUB  
●創 立：1973年2月23日  
●会 長：品川 芳洋  
●幹 事：堀内 伸也  
●会報委員長：高岡 正和

今週のプログラム

第2194回例会

- ① 開会 点鐘
- ② ソング 「クラブソング」
- ③ ビジターの紹介
- ④ 会務報告  
「会長の時間」「幹事報告」
- ⑤ 委員会報告  
「出席報告」「各委員会」「ニコニコ報告」
- ⑥ 「ロータリーの友」紹介  
浅井 寿徳広報・雑誌委員長
- ⑦ 卓話「なぜロータリーの友を読むのか」  
ロータリーの友 地区代表委員 (大阪南RC)  
木村 芳樹氏
- ⑧ 閉会 点鐘

来週の予定

\*9/21(金) は定款による休会

第2195回例会 9月28日(金)

- ☆卓話なし
- ☆第2回クラブフォーラム  
会員組織委員会部門  
大松 桂右会員組織委員長

\*9/29(土) 米山奨学委員長 カウンセラー研修会  
於：サニーストンホテル江坂 別館3階  
富士の間  
受付 13:30~ 研修会 14:00~16:00  
大橋 秀造米山奨学委員長 出席予定

前週の例会記録

2018年9月7日(金)

出席報告

例会数	会員数	出席数	出席率	備考
第2193回	27名	15名	68.1%	出席義務免除 7名(出2)
第2191回	27名	17名	77.3%	補 填 2名

ニコニコ箱

- 台風の被害はいかがでしたか?  
先週欠席のおわび。 桑田 タア子会員
- 浅井さん、卓話楽しみです。頑張ってください。  
・21号台風皆さん被害はございませんでしたか?  
・九州から北海道まで日本列島災害の連続です。  
常に心して災害に備えましょう。  
奥田 長二会員
- 浅井君、本日の卓話「超高齢社会の問題と今後の国の政策」大変気になります。池本 繁喜会員
- だいぶ涼しくなりましたね!これから、いろいろな行事がありますので、ガンバリましょう。  
石川 義一会員

★例会場：八尾市生涯学習センター<かがやき> 〒581-0833 大阪府八尾市旭ヶ丘5-85-16 TEL:072(924)3876

★例会日時：毎週金曜日13時30分

★事務所：〒581-0803 大阪府八尾市光町2丁目60番 LINOAS(リノアス)8階 TEL:072(997)0626 Fax:072(997)2620

★http://www.yaohigashi.org/ E-mail:yaohigashi@japan.email.ne.jp

●浅井さん、卓話ご苦労様です。 鈴木 洋会員

●**今回合計** 8,000円

●**累計** 204,000円



9月結婚記念日祝  
高橋会員

## 会長の時間

先週サマータイムのことについて述べましたが、その時、労働時間や休暇についての環境が整っていない日本でサマータイムが導入されても効果は期待できないとお話ししました。

今日は、労働時間と深く関わるワーキングシェアについて考えてみようと思います。

社会の労働による生産量は単純に言って、労働人口×労働時間/1人当たりで表されます。

生産量をキープしながら、なるべく多くの人達に仕事の機会を与えるために1人当たりの労働時間を少なくするのがワーキングシェアの考えです。

フランスの場合、人口は日本の1/2。日本とフランスとの仕事の仕方を比べて一番感じるのは日本はひとつの仕事に人が多く関わり過ぎ、ということです。

例を言えば、自動車運転免許について。フランスでは日本のような大きな施設を持った自動車学校はなく、訓練用車が2~3台を擁した“Auto Ecole”と掲げた“学校”と名のつく個人商店が道路に面してあります。“入学”して法規の講習を受けた後、役所での法規試験をクリアしたら実技の研修。いきなり路上での試走が始まります。何回かの教習を経て技量が認められると、運転試験の申請。「〇月〇日〇時〇分に△△通り××番地に運転試験実施」という通知を受けて、当日現場に行くと教習所の教官が教習用の車で来ており、そこへカバンを提げた一人の試験官が現れます。

坂道での割り込み駐車など実戦さながらの試験を約1時間ほど受けたその場で合否の判定。合格となる

とその場で試験官は仮免許証にサインして「Voila ほら！」とってて交付。

2週間ほどして正式な免許証が自宅に送付されてきました。有効期限はなくなると永年！更新手続きは不要です。

後々なんら健康上のチェックがないのは安全面で如何なものかとは思いますが、日本のように交付・更新諸手続きに多くの人が関わるのも如何なものかと思えます。

特に国際免許など本証の有効期限に関係なく1年の期限、しかも単に本証の英訳だけ。

初めから日英語表記にしておけば済むことなのに、お互いに無駄な労力と思えます。

## 幹事報告

### 【配布物】

- ①週報
- ②高安の能の案内

### 【回覧】

- ①ガバナー月信9月号
- ②地区大会の出欠表

### 【連絡】

- ①10/26(金)移動例会

以上

## 卓話

「超高齢社会の問題と  
今後の国の政策」  
浅井 寿徳会員



これからますます深刻化していく超高齢社会問題、そしてまた同時に少子化問題もありますが、それに伴い職員不足の影響が現在特に悩みとさ

れております。

そして、さらに介護難民が増え続けていくとされている事。

これらの事が、これからもいろんな分野で影響し、問題も多々あるかとは思いますが、今回は介護の制度や政策について、お話しをさせて頂きたいと思います。

まず初めに介護保険制度のこれまでの流れになります。

国の政策として2000年4月に介護保険制度が誕生致しました。

この制度ができる前は「措置制度」と呼ばれる行政のサービスが中心となっておりました。

この介護保険制度ができるまでの背景と致しましては、核家族や共働きなどの為、家族だけで介護をすることが非常に難しい時代になったということも大きく影響しております。

そして、現在の計画では、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を継続できるように、医療、介護等々の色々なサービスを日常生活圏域で一体的に提供することを目指す「地域包括ケアシステム」の構築が2025年を目途に、早急に進められております。

日本は諸外国に例を見ないスピードで高齢化が進行しており、特にきっきんの課題でもあります。団塊の世代が75歳以上となる2025年問題は、大きな病気や認知症をわずらう方が増えると言われており、それに伴い、社会保障費の膨張に加え医療機関や介護施設が足りなくなるのではないかと指摘をされ、地域包括ケアシステムの構築が重要と考えられております。

日本に似た高齢化率が高い国の介護事情や政策の取り組みについて少し調べてみましたが、海外先進国においても在宅に向けた取り組みや政策が基本的におおく行われております。日本においても、環境の違いは多少ありますが、なにより利用者やその家族そして、地域社会全体の協力を頂き、介護予防や自立支援に力を入れていくという

事が一番大切だというふうに理解できます。

日本では、まだまだ施設入所を希望される方が多くいらっしゃいますが、職員不足の影響もある為これ以上の施設が増えると悩みも増えますし。

解決策とまで、なるかはわかりませんが、やはりこれから先は、ご高齢の方々に「一人ひとり健康で長く働き続けて頂く」ということが最も重要で大切なことだと思えます。

そして一人でも多くの介護者として、ともに提供あるいは協力をしていただく時代になってくるだろうと思えます。

このような背景を改めて認識することで、今後の介護利用者がピークを迎えるにあたり、会社として、そういった計画を立て、これからの時代に少しでも役立てるような施設造りに努めて参りたいと思えます。

## 9 月度定例理事会報告

幹事：堀内 伸也

- 日 時：2018年9月7日(金)  
例会前 12:30~13:20
- 場 所：かがやき 1階ロビー
- 出席者：理事役員5名

案件：

- ①会計報告8月分→ 承認
- ②会場及び事務局の件  
→ バンケットルーム使用の件、テナント全店に貸出すると店長会で発表あり  
現場よりバンケットへ移動することを優先に交渉を進める(幹事・中澤Rで)
- ③ダウタウンマニラRC創立40周年記念式典への参加  
→ 安田R 国際委員会でガイドラインを作成して頂き、スケジュール・派遣者を選定  
式典日(2019年2月21~24日)

④地区補助金事業について

→ 次回例会時に辻盛委員長と進捗確認

⑤10/27（土）東大阪みどりRC創立20周年記念  
式典出席者の件

→ 品川会長のみ出席で承認

⑥指名委員会発足の件

→ 10月理事会にて、発足メンバー等の準備を  
決定（幹事たたき作成）

⑦その他

※グレン&千杯の時の移動例会の件

→ 10月26日（金）18:00～、  
アゴーラリージェンシー堺にて開催  
移動例会と前夜祭を合同で行う予定

※高安里顕彰能への協賛の件

→ 回覧にて対応（クラブでの協賛はなし）

以上

～ロータリーニュースより～

2020-21年度ロータリー会長に  
スシル・グプタ氏が選ばれる

記事：Teresa Schmedding

国際ロータリー会長指名委員会は、デリーミッドウェスト・ロータリークラブ（インド）所属のスシル・グプタ氏を、2020-21年度国際ロータリー会長に選出しました。対抗候補者がいない場合、同氏は10月1日に会長ノミニニーとして宣言されます。

会長指名委員会により2020-21年度国際ロータリー会長に選ばれたスシル・グプタ氏（デリーミッドウェスト・ロータリークラブ所属）

ロータリーの人道奉仕のインパクトを高め、会員基

盤の多様化を進めることがグプタ氏の願いです。

「個人でできることには限界があります。しかし120万人ものロータリアンが一致団結すれば、不可能なことなどなく、世界を本当に変えることができるのです」とグプタ氏は声明の中で述べています。

グプタ氏は、Asian Hotels (West) 社の会長 兼 代表取締役社長であり、ハイアット・リージェンシー・ムンバイおよび JW マリオット・エアロシティ・ニューデリーのオーナーです。インドのホテル・レストラン協会連盟 (Federation of Hotel and Restaurant Associations of India) の元会長、インド観光金融公社 (Board of Tourism Finance Corporation of India) の元理事であり、現在はインドの観光振興を目的とする観光業界とインド政府の官民パートナーシップ Experience India Society の会長、Himalayan Environment Trust の副会長、Operation Eyesight Universal (インド) の理事を務めています。

1977年にロータリークラブ入会。以来、地区ガバナー、研修リーダー、リソースグループ顧問、数々のRI委員会の委員長、副委員長、委員を歴任しました。

水保全への貢献によりジャイプールの IIS 大学より名誉理学博士号を授与されたほか、観光と社会福祉事業における功績が認められ、インド大統領より、社会市民に贈られる賞としてはインドで4番目に高い Padma Shri 賞を受賞しています。

ロータリー財団では、人道的・教育的プログラムへの支援が評価されて特別功労賞を受賞。ヴァニタ夫人とともに、ロータリー財団のメジャードナーおよびアーチ・クランフ・ソサエティのメンバーとなっています。